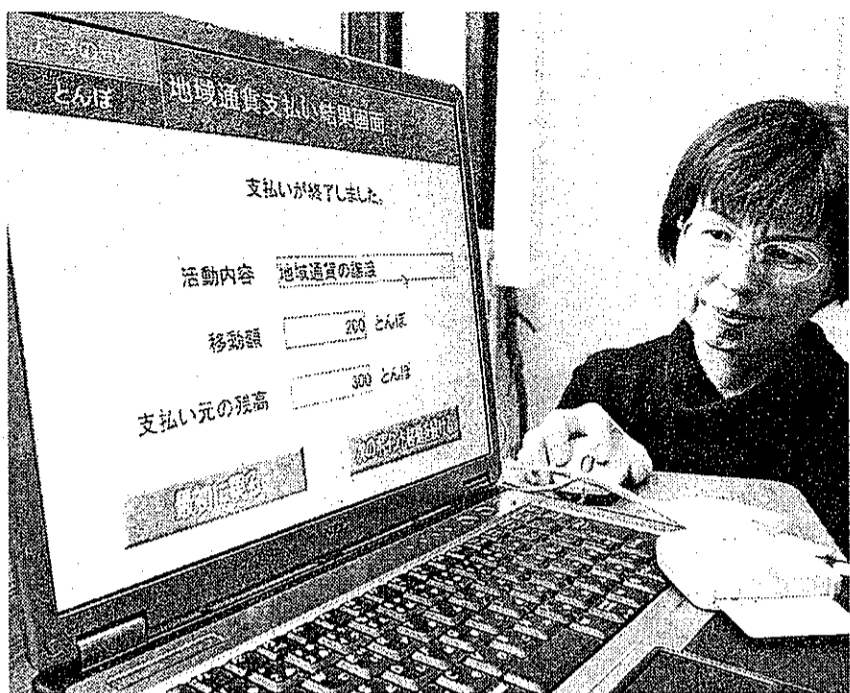


# 地域通貨フォーラム in たつの市



会場に設置された端末で地域通貨の支払いを体験する参加者

たつの市が来年一月末まで、住民基本台帳カードや携帯電話を利用した地域通貨「とんぼ」の実証実験に取り組んでいるのに合わせ、地域通貨フォーラムinたつの市「とんぼ」で元気なまちおこし」がこのほど、同市立中央公民館で開かれた。同市と総務省、財団法人地方自治情報センター、全国地方新聞社連合会、神戸新聞社主催、龍野商工会議所、共同通信社、サンテレビジョン後援。パネリストらが、基調トークやパネル討論「地域通貨カフェ」を通じて、地域通貨の可能性や使い方、地域おこしにつながる方策などを話し合った。

**パネリスト**  
 岡田真美子さん  
 武内憲章さん(龍野地区まちづくり協議会事務局長)  
 西田正則さん(たつの市長)  
 牧慎太郎さん(兵庫県県民政策部政策局長)  
 (司会・進行は、相川康子・神戸新聞社論説委員)

「とんぼ」

地域通貨

で元気なまちおこし



武内憲章さん



西田正則さん



牧慎太郎さん

## 使う人の顔が見える安心通貨

岡田

地域通貨は全国に多数ありますが、合併後の市が、まちづくりに生かそうというのは珍しい。皆さん地域通貨のかわりを教えてください。

武内 紙媒体の「とんぼ」を、感謝の印として流通させようという取り組みが主眼。今回は市が主体のため信頼感が増し、期待できます。

西田 たつの市は昨年十月の合併で誕生しましたが、合併間もない市政を進める中で、地域通貨をどう位置づけ、新市の独自性を生かせるかを考えたいと思っています。

## 合併のきずな強める潤滑油に

武内

岡田 姫路の地域通貨「千姫」は、困ったときに相談すれば、いつでも仲間が応じてくれるネットワークをつくろうと始めました。一昨年、台風による水害のとき、手をたえを感じました。牧 今年三月まで総務省に務め、多くの事例を見てきました。知恵と工夫で地域を元気にしたいとの思いから、地域通貨が生まれたと感じています。

市長さんは、合併後のまちづくりの課題をどう考えていますか。

西田 合併から半年後に住民意識調査をしたところ、地元以外の旧市町のイベントに行ったことがある人は約10%でした。合併したのに、旧市町間ではあ

## 「とんぼ」で旧市町の交流加速

西田

武内 地域通貨は万能ではないが、潤滑油のような働きがある。使うことで交流が生まれ、旧一市三町の融和へ大きな道員になると思います。

岡田 顔の見える関係で使うお金は安心できる。つまり、ほどこい閉鎖性がある。一人ずつ人間関係をつないでいくのは面倒かもしれないけれど、利点でもあります。

紙ではなく、電子情報でやりとりするメリットは何でしょうか。

牧 広いたつの市で、瞬時にやりとりができるのが大きい。紙だと偽物が作られる可能性もあるが、電子情報なら、セキュリティ管理をすれば防犯面で

## 「ポイント」は地域愛の「表れ」

牧

**地域通貨「とんぼ」とは**  
 たつの市龍野町内の住民でつくる「龍野地区まちづくり協議会」が発行する地域通貨の単位で、03-05年に計3回、龍野小学校区内を対象に実証実験を行った。今回の実験は、同市が発行、流通範囲を市全域に広げた。

ボランティア活動などでポイントをため、市内の公共施設やコミュニティバスの運賃として使える。従来の紙幣型に加え、電子マネー型を導入。IC(集積回路)チップを内蔵した住民基本台帳カードや携帯電話にデータを蓄積し、専用端末などを使ってポイントの受け渡しが可能になる。また、01年に姫路で始まった地域通貨「千姫」は、全国で初めて、インターネット上で交換する仕組みを採用。特定非営利活動法人(NPO法人)「千姫プロジェクト」(事務局・姫路)が運営、登録した利用者のサービスに対して通貨を支払う。

武内 最近、小学校もインターネットの環境が整いつつあり、地域通貨が使えます。子どもが地域活動に参加することで、感謝の気持ちや古里を愛する心も育つのではないのでしょうか。

西田 たつの市では、住民基本台帳カードの普及率が約0.3%で、これを改善しないと始まりません。地域通貨の点数がたまる、公共施設以外でも使えないか、といったことにもなるでしょう。実験しながら考えたい。

パソコンや携帯電話が使えない人はどうするか、また通貨の価値付けの問題をどう解決する。

「とんぼ」は、個人間のやり取りで信頼し合っていることなので、上手にやっていると、円なら文句も出るでしょうが...

牧 地域通貨は経済原理とは割り切れません。例えば、一回の講演で数十万円もらう著名人も、自分の出身校では無料で講演するかもしれない。地域のため自分に何ができるか、その気持ちのポイントが地域通貨です。

「とんぼ」は、利用するだけでやってみると、そのうち見えないことが見えてくる。将来、問題が起これば対応できる力を養っておくことが、社会実験の意義だと思います。

るか、活動に参加できない人は疎外される、などの課題も指摘されていますが...

西田 価値付けの問題ですが、例えば、家庭教師を頼むとして、プロの講師と学生として、ポイントが違ふのは当然。活動に参加できない人をどうするかは、実験しながら考える必要があります。

岡田 「とんぼ」を使って、パソコンを教えるのもいいのではないのでしょうか。価値付けの問題ですが、むしろ価値を付けたら評判になるのがネットの特徴で、次第に適切な値段に収まると思います。

武内 価値付けは、個人間のやり取りで信頼し合っていることなので、上手にやっていると、円なら文句も出るでしょうが...